



# 四 気 折 々

四気=川越中学校訓 「 やる気 ほん気 こん気 げん気 」

川越町立川越中学校  
学校だより 第6号  
令和5年5月1日  
・令和5年度学校教育ビジョン  
・「部活動」という考え方

## 令和5年度川越中学校教育ビジョン

学校教育目標 『 自立した生徒の育成 - 自律・調和・創造 - 』のもと

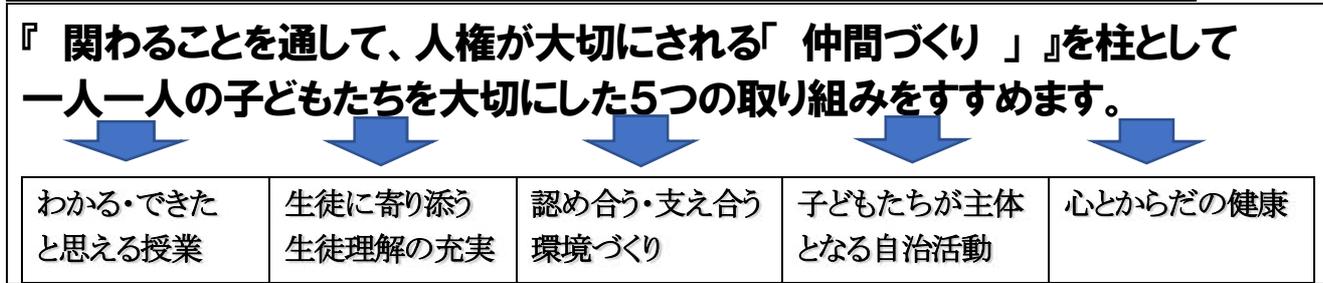
【目指す生徒像】・自分を大切にすること・他者を大切にすること・粘り強くやりきる **生徒**  
【目指す学校像】・人を大切にすること・安全で安心できる・地域や保護者とともにある **学校づくり**を目指します

『 **関わることを通して、人権が大切にされる「仲間づくり」** 』を柱として  
**一人一人の子どもたちを大切にしたい5つの取り組みをすすめます。**

わかる・できたと思える授業	生徒に寄り添う 生徒理解の充実	認め合う・支え合う 環境づくり	子どもたちが主体 となる自治活動	心とからだの健康
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び合う・教え合う授業づくり</li> <li>・誰も一人にしない授業づくり</li> <li>・日常的な授業改善</li> <li>・指導と評価の一体化</li> <li>・ICT機器の活用を日常化</li> <li>・家庭学習の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心に寄り添う生徒指導</li> <li>・個に合った教育支援</li> <li>・日々の教育相談の充実</li> <li>・個に応じた進路指導</li> <li>・家庭・地域・関係機関との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が安心して自分の想いを伝えることができる居場所づくり</li> <li>・生徒間交流ができる場の設定</li> <li>・いじめ差別を許さない心の育成</li> <li>・自尊感情・自己肯定感の高揚</li> <li>・道徳教育とキャリア教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動の充実と活性化</li> <li>・室長会・班長会の充実</li> <li>・学校生活づくりへの参画</li> <li>・主体的な態度の育成</li> <li>・生徒主体の実践場面の設定</li> <li>・地域活動、ボランティア活動への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動や校外活動を通じたからだづくりと心づくり</li> <li>・地域とともにある食育教育推進</li> <li>・いのちの大切さを考える講演会</li> <li>・心とからだに関わる教育相談</li> <li>・読書活動の推進(図書室の利用)</li> </ul>

### 令和5年度、大切にしたいこと…

今まで継続してきた教育ビジョンから、新たにこの2行を追加しました。そして、『一人一人の子どもたちを大切にしたい5つの取り組み』を具体化(こうやって進めたい)して表現をしました。



川越中学校が県の指定を受けて取り組んできた「人権教育研究指定校事業」。「子どもたちが本音を話すことができる仲間づくり」を川越中学校の人権教育の大切な視点として全職員の共通認識として取組んできました。これを川越中学校の独自性を生かして課題解決を図る取り組みとして4年目を迎える今年度。大切にしてきたことは、『日常における仲間づくりの取り組み』です。学校生活の日常的な取り組みの中で、私たち教職員が年間を通して意図的に取り組みを継続していきます。その中で、上記の5つの取り組みは、昨年度はどのように表現をしていました。

『授業』・『生徒理解』・『人権教育』・『生徒会活動』・『部活動』というように……。今年度は上記の5つの取り組み重点を、理由付けと価値づけをして考えました。やはり、5つの重点となる活動は学校生活のすべての教育活動です。その教育活動に対して川越中学校が大切にしている『関わることを通して、人権が大切にされる「仲間づくり」』を活動の中心に置くことによって、その5つの活動は、すべてが「一人一人の子どもたちを大切にしたい具体的な(取り組むべき内容を具体化させながら)取り組みへとつながります。これが令和5年度において重点的に取り組んでいく項目です。

教科授業だけではなく、日々の学校生活はすべてが『学びの場』であり、その『学びの場』では、関わることを通して人権を大切にしたい「仲間づくり」をすすめます。日々の学校生活の学びの場で人権感覚を磨き、自分の変容につなげていきます。「豊かな心」の育成につながり、「確かに生きる力」の育成もつながると考えます。

## 令和5年度 学校教育ビジョン 『心とからだの健康』

■ 部活動や校外活動を通じた「からだづくり」と「心づくり」  
という考え方について、そして「仲間づくり」へ……。

すべては、「生徒の安心・安全の保障」があってこそ。そして、そこには学校教育  
ビジョンの「粘り強くやりきる」生徒の育成にもつながります。

【 部活動正式入部ミーティング開催。そして、1年生を迎えての部活動がスタートをします。 】  
希望を持った1年生を迎えた部活動。川中で大切にしたいのは、部活動や校外活動を通じた「心  
づくり」と「からだづくり」です。そして、関わることを通じた「仲間づくり」です。川中の部活動に入  
部した人も、校外活動として頑張っていく人も……。

川越中学校の教育目標は「自立した生徒の育成～自律・調和・創造です」。そして、自分を大切にする生徒・他者を大切にする生徒・粘り強くやりきる生徒づくりを目指します。私たちの周りにはいろいろな人たちがいます。人によって興味も違うし、得意なことも違います。部活動も同じだと思います。入部したばかりの1年生、1年間の中学校での経験を積んできた2年生、最上級生として後輩の見本となるべく3年生。昨日、はじめて顔を合わす人もいたと思います。「正式入部ミーティング」ではじめて部活動が全学年がそろってのスタートです。しかし、取り組んできた年数も経験も違います。入部した目的も目標も違うかもしれません。みんな自分と同じとは限りません。様々な特性や特徴のある人たちが成り立っているのが社会であり学校なのです。川越中学校には一生懸命に頑張ろうとしている仲間を全力で応援できる風土があります。ひたむきに一生懸命に頑張っている人を全力で応援し、その頑張りを認め受け入れる。そんな人を想い尊重し、大切にする。そんな学校をつくっていく主役になってほしいと思います。このように、部活動や校外活動を通じた「からだづくり」「心づくり」、そして「仲間づくり」を柱として3年間かけて学んでいくのです。関わる中で、集団の中でしっかりと学習し、嫌なこと・苦手意識のあることでも我慢したり、努力しながら、日々の練習や活動を粘り強くコツコツとあきらめずに取り組み、「粘り強くやりきる力」を身に付けてほしいと思います。中学校とはそういう場所でもあります。

### 川越中学野球部の活躍(三泗中学校軟式野球春季大会 準優勝!) おめでとう



2回戦・3回戦と勝ち上がり、川越中学校軟式野球部が準決勝を2-1で勝利！見事、午後からの決勝へ進出！決勝戦。対戦相手は全国大会常連の強豪チームでもある海星中学校。四日市市霞ヶ浦第2野球場の1塁側には、川越中学校の野球部員の保護者皆さま、関係のみなさまに午前中の準決勝同様に、決勝戦も大変多くの皆さまにお集まりいただきました。保護者の皆さまの声援と応援をいっぱい受けて、野球部の子どもたちは全力でがんばりました。結果は0-8で惜敗。決勝戦は海星中学校が相手。技術も体力も相手よりもまだまだ不足している部分はありますが、川越中学校はチームとしてみんなで全力で戦いました。三泗地区で優勝はできませんでしたが、堂々の準優勝です。閉会式では多くの保護者の皆さまの拍手の中、大会会長から準優勝の盾と表彰状を授与されました。残念ながら、春季三重県大会への出場は逃しましたが、夏の中体連三泗地区予選大会は、三泗地区第2シードとして大会に臨みます。川越中学校野球部、春季大会準優勝おめでとう！全員野球、粘り強くあきらめない野球でこれからも頑張ってください。保護者の皆さまも朝からの応援ありがとうございました！これからも川中野球部を支えてください。



#### 【野球部キャプテン 早川 憲伸さん】「決勝戦を終えて(感想と今後に向けて)」

決勝戦を終えたキャプテンの早川さんに試合後の感想を確認しました。「守備での課題」が一番大きく残った。この課題をこれからの練習で徹底して取り組みたい。成果は、誰一人最後まであきらめずに粘り強く頑張れたことです。夏の大会の目標は「三泗地区の優勝」です。」という力強いコメントをもらいました。

期待しています！これからも頑張ってくださいね。頑張れ！川越中学校野球部の皆さん！ファイト！







